

26期女性会連盟ニュース



ひびき



第26期主題 「虹の架け橋を見上げて ～平和・寛容・多様性へ～」

主題聖句 「わたしは雲の中に虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。」 創世記9章13節

発行：日本福音ルーテル教会女性会連盟

発行者：谷口和恵

主に共につながる

女性会連盟会長 谷口 和恵

2025年が始まり、ひと月が経とうとしています。

昨年は能登半島地震に始まり、大きな航空機事故、各地での豪雨災害などいろいろなことがありました。また世界を見渡せば未だ終わりが見えない戦争や紛争が長く続いています。こうしている今も尊い命がたくさん失われています。どこで何があるか予測のつかないことが多く、その度に私たちは心を痛めます。多くの皆さまもそのような思いを抱え、平和、平安を神さまに祈る日々を過ごされているのではないかと思います。

さて、女性会連盟の働きに携わり半年が過ぎました。当初は組織の運営に目が行き、その歴史に圧倒され、慣れない働きに空回りしている自分がいました。そんな中、全国4教区からの連盟役員4人でのLINE会議を重ね、諸先輩方の言葉に少しずつ心がほぐれていきました。そして昨年11月の合同役員会では連盟担当坂本千歳牧師、各教区会長4名、連盟役員4名、連盟事務局員を交えての話し合いが行われました。祈りと讃美歌を共にすることから会が始まりましたが、私はその時深い感動を覚えました。初めて顔を合わせる方が多数いらしたにもかかわらず、神さまのもとに呼び集められたことを確かに感じられたからです。

今更ですが、女性会連盟は神さまを主と仰ぐお一人お一人の集まりなのです。それが脈々と100年近く続いてきたのはそこに神さまの祝福とお導きがあるからに違いありません。

ここに女性会連盟75周年記念誌に書かれた連盟の在り方を記します。『それぞれの教会婦人会(旧称)は教区でまとまり連帯して支えあっていきます。その5つの花びら(北海道特別教区を含みます)がまとまって一つの花を作り出していく、それが連盟の一つの花。花のまわりの葉は日本国内だけではなく広く海外に私たちの目を開かせてくれます。主であるぶどうの幹に世界中のキリスト者と共につながるぶどうの枝となります』これは連盟の概念をよく表した文章だと思います。そして「聖書研究」「会報の発行」「感謝献金」という連盟の三本柱ともいえる具体的な働きを大切に、また「ルーテル神大神学生生活支援」や「TNG支援」を通して皆さまとご一緒に神さまの福音を伝える働き手を支え、若者が神さまに出会う場を支えられたらと願います。

ひとりではできないこと、個教会ではできないことも教区女性会を通して、連盟を通して神さまのご用のための働きに繋がれることは大きな喜びです。

2025年が皆さまにとりまして神さまのお恵みと祝福に溢れた一年でありますようお祈りいたします。

これまでの役員会や合同役員会で話し合ったこと (11月18～19日)

サバ神学院神学生支援として最後の送金をいたしました(2024年12月26日送金済み)。

2024年上半期(1月～6月)分、
159,000円となりました。

感謝をもってご報告いたします。
今後とも友好関係を続けてまいります。

日本ルーテル神学校神学生生活支援が始まりました。

2024年下半期(7～12月)分、
217,000円が集まりました。

感謝をもってご報告いたします。
尚、支援金は在校生2名、休学中の方1名に手渡しする予定です。
今後、神学生との交流を深めてまいります。

また今年の支援方法はこれから検討していきたいと考えています。

生活支援：学業に関すること、家賃や食費に関する事など、生活に関わることを支援する

2027年総・大会の会場が西教区に決定いたしました。

そして翌2028年は日本福音ルーテル女性会連盟の誕生より100年目の大きな節目となります。従って半年早めですが、2027年の大会を女性会連盟百周年記念大会としたいと思います。

日時、場所につきましてはこれから検討いたしますが、西教区の皆さまどうぞよろしくお願い致します。楽しく有意義な記念の大会となりますよう会員の皆さまのご協力をどうぞよろしくお願い致します。

在り方検討委員会について

教区女性会、女性会連盟を休会する教会が増え続けています。何が原因かを探り、話し合うことで休会を考え直していただけたらと思います。

主に在る家族としてのつながりを大切に、私たち自身の信仰を養い、福音の宣教に努めていけたらと願っています。

感謝献金

2024年は総額**343,000円**の感謝献金が集まりました。感謝をもってご報告いたします。各施設にそれぞれ49,000円の献金をすることができました。支援先7か所は以下の通りです。

- ・社会福祉法人グループ・ラム
- ・レインボーハウス
- ・(福)デンマーク牧場福祉会
- ・心促福祉作業センター
- ・釜ヶ崎ディアコニアセンター喜望の家
- ・千葉ベタニアホーム旭ヶ丘
- ・るうてるホーム

合同役員会に参加して 各教区女性会会長の声

東教区女性会会長 和田めぐみ

東教区女性会会長の任を何とかこなす日々を送ってきた私にとって、この合同役員会で、連盟役員の皆様や各教区の会長の方々、連盟事務局の都外川さん、坂本千歳牧師にお会いできたことは、例えるなら、一人で知らない国で暮らしていて、同郷の人を見つけた安堵感の様でした。一人ではできなくても、つながり合うことで力づけられるという恵みが与えられ、前に進む力になっていく事を実感しました。色々な課題がある女性会ですが、こうして主にある繋がりを感じられることこそが、大切な役割なのだと思います。この度は、連盟役員の皆様にはお世話になりました。感謝です。また、全国の仲間と再会出来るのが楽しみです。

東海教区女性会会長 柴田恵子

何のために集まるか？ 漠然とした中で静岡から上京。この数ヶ月、会長の任を受けて精一杯走ってきた感あり正直やや疲れ気味。新幹線を降りると人・人・人。見わたす限り皆同じ無表情。時折、耳に入ってくるのは外国語ばかり。そんな私が重いスーツケースを持って階段を上っていた時のこと、前を歩いていた青年が後ろを振り向き「良ければボク階段の上まで持ちますよ！」と笑顔。階段を上ると「少し重かったですね。気をつけて。」と足早に去っていった。何だろう、この爽やかな風は？ 自然に相手を思いやるってどんなに素敵なことか。すごい青年に出逢った。感動した私は、一気に疲れが吹っ飛んだ。そして聖霊の風と共に見える景色が一変した。そして向かえた「合同役員会」素敵な仲間と出逢う貴重な時間。神様ありがとう、私こそが変わるべき器であった。

九州教区女性会会長 中島由里子

11月18～19日、市ヶ谷センター、東京教会で合同役員会がありました。色々ざっくばらんに話す事が出来ました。特に女性会の今後については、各教区の現状や会員の皆さまの素直な意見を聞くことが出来ました。教区女性会や女性会連盟を休会する教会が急増しており、特に東教区と九州教区が顕著だということです。理由はほぼ共通して、高齢化による活動縮小、役員が出せない、会費納入が厳しい等々です。解散・廃止論も耳にするようになりましたが、存続を希望する方も多く、教会の横の繋がりがなくなると孤立する教会も出てくることでしょう。それに伴い子どもや神学生への支援ができなくなってしまうのではないかと危惧する声も多いのです。しかし人口減少は、女性会のみならず本教会、引いては日本全体の問題なので、時代の流れに逆らうのは難しいとも思います。今まで通りにはいかないと思いますし、今後名称も変わることがあるかもしれませんが、女性会を母体に、性別、年齢に関係なく参加できるようにして、力を合わせて支援することを継続できればと願っております。

西教区女性会会長 糸山昭恵

第26期女性会連盟役員の皆様、各教区会長に皆さま、坂本千歳先生、事務局の都外川さん、お世話になりました。皆様と共に集い話し合うことができ、感謝しております。「二人または三人がわたしの名によって集まるころには、わたしもその中にいるのである」マタイ18:20 このみ言葉を実感した2日間でした。

一人ではできないことも、協力し合い、知恵を出し合えば、きっと神さまが支え導いてくださいます。連盟全体、またそれぞれの教区・教会が課題をもっています。休会教会が増えていること、会員の高齢化や減少など。それらを分かち合えた事は、大きな力になりました。女性会は、少しずつ形を変えて行くときに来ているかもしれません。でも、女性会の役割は大きいと信じています。

全国の仲間たちと集えたことは大きなよこびであり、次にまた笑顔で再会できることを楽しみにしています。

★連盟役員の声

○沼崎素子（副会長・会計）

25期役員の方々から引継ぎを受けて半年が過ぎました。やっと一人で新幹線や電車に乗ることに少し慣れたところです。全国の会員の皆様から届けていただく会費と感謝献金に心より感謝いたします。キリストに連なる多くの仲間たちに出会えた喜びを糧に今後の活動に励んでまいります。



○室原紫音（書記）

前期役員さんから引継ぎを経て、瞬く間に半年が過ぎました。知ることから始まり、役員4名で知恵を寄せ合って、いろいろな問題にぶつかりながらも楽しくここまで守られたこと、神さまは勿論支えて下っている方々の助けと励ましがありませんでしたことを心に覚え、感謝いたします。



○中島千麻子（広報）

7月の引継ぎから、何もわからないままバタバタとして10月の会報発行に踏み切りました。役員や平山印刷さんに助けられながら、どうにか会報を発送することができました。色々な会合に出席させて頂き、初めてお会いする方々と話すことで皆さんとの繋がりを知り、神さまのお働きに感謝する今日この頃です。

連盟 今後の予定

- ・ 会計監査 2月7日
- ・ 牧師按手式出席 3月2日
- ・ ルーテル学院大卒業式出席 3月7日
- ・ 対面役員会 4月予定
- ・ 連盟会報発行 4月予定
- ・ 役員研修会 6月予定

★ホームページが25期のお働きにより、リニューアルされました。ご活用ください。表題 QRコードより入れます。

各教区 今後の予定

- <東教区> 世界祈禱日 3月7日
日本基督教団信濃町教会
春の集い 4月予定
シャロンの花発行 5月予定
- <東海教区> 『女性会の集い』2月24日静岡教会
アガパンサス発行 2月予定
- <西教区> 第4回役員会 2月23日
第2回地区連絡会5月頃 花みずき発行
全体修養会『花みずきの集い』9月23日
- <九州教区> 役員会 2月11日
臨時総会2月24日

～世界祈禱日のお知らせ～

2025年の世界祈禱日は3月7日（金）です。世界中の女性たちによって祈りの時が持たれます。皆さま既に式文をご購入頂き目を通していらっしゃると思いますが、今年の式文作成国は南太平洋の国、クック諸島です。各地の集会はNCC女性委員会のホームページをご覧になって頂ければ詳しい情報が掲載されています。大きな集会に参加できなくても各教会の女性会の定例会等で少人数が集まり祈りを捧げる時をお持ちいただければと願っています。



（NCC協力委員 安田やまと）